

分娩介助技術 評価表

2024/3/1

*分娩介助技術試験の直前に実施した自己演習を自己評価する

*項目ごとに、チェックする

*特記事項には、今後の課題など気づいたことを書く

学籍番号 () 学生氏名 ()

NO	評価項目内容	内容全部 できた 2点	内容一部 できた 1点	内容全部 できなかった 0点
1	機械台の上に清潔操作で必要物品を準備できた			
2	産婦に外陰部消毒の説明後、外陰部消毒が手順通り、正確にできた			
3	清潔操作で、滅菌ガウンと滅菌ゴム手袋を装着できた			
4	清潔操作で、産婦の臀部にシーツを敷き、足袋をはかせ、腹部にシーツをかけ、清潔野の確保ができた			
5	産婦の姿勢に配慮し、分娩台を調整することができた			
6	破水時は時間を確認すると共に、内診指にて破膜部分を拡大し、先進部の状態を診察することができた			
7	機械台の上の必要物品を使いやすい位置に準備できた			
8	肛門保護ガーゼ、会陰保護ガーゼを準備することができた			
9	上記7.8の実施中の陣痛発作時は目線を産婦（特に陰部）に向け、呼吸法などの声かけができた			
10	排臨の時間を確認し、産婦に声かけができた			
11	陣痛や会陰の状態を観察して、効果的な呼吸法（腹圧）の指導が行えた			
12	適切な時期（初産婦では児頭排臨時）に、適切な方法（四指をそろえる、圧を加えすぎない）で、肛門保護ができた			
13	肛門保護ガーゼを外すときは、下方向に拭うように外し、清潔野を汚染しないよう、使用毎にすてることができた			
14	発露の時間を確認し、産婦に声かけができた			
15	適切な時期（初産婦では児頭発露時）に、右手を十分に開いて、会陰が約1cm見える位置に会陰保護ガーゼを当て、会陰保護が開始できた			
16	左手は、後頭結節が恥骨弓窩を滑脱するまでは後頭部を会陰の方向に軽く押しながら児頭の屈位を保ち、第3回旋を抑制できた			
17	後頭結節の恥骨弓窩滑脱を確認したら直ちに短息呼吸の指導ができた			
18	前頭の会陰通過時、会陰を見ながら、右手は会陰の緊張を除去するように、左右から寄せて緩みを作ったり、児頭が娩出しやすいように、会陰保護の力を恥骨方面に軽く押し上げたりできた			
19	同時に左手は児頭にあて、児頭娩出速度を調節しながら急速な娩出を防止すると共に上方に撫で上げるようにし、両手相呼応して前額→顔面→頤部の順序で第3回旋を助け、児頭を最小周囲で娩出できた			
20	児頭娩出後、右手は会陰部に固定したまま、左手で直ちにガーゼを持ち、前頭から頤部の方向で鼻腔内の羊水をぬぐうように清拭ができた			

21	児の顔面清拭後、直ちに臍帯巻絡の有無の確認をし、報告ができた（巻絡有りの場合は巻絡の解除ができた）			
22	第4回旋終了後、右手はそのまま会陰に置き、左手は拇指と他の4指に分けて開き、各々を後頭と下顎に当て、頭部を会陰の方向へ圧下して、前在肩甲を恥骨弓下からはずす（上腕1/3程度娩出）ことができた			
23	上腕が恥骨弓下に支えられたら、左手で児を前上方に抱き上げるようにして会陰を見ながら、右手で会陰保護をし、後在肩甲の娩出ができた			
24	後在肩甲娩出後、会陰保護ガーゼで肛門周囲をぬぐうように、かつ、清潔野を汚染しないで、捨てることができた			
25	両手の母指と示指で児の腋下を把持し、残る3指で躯幹を支えることができた			
26	躯幹を骨盤誘導線に沿って娩出させながら、産婦に声かけができた			
27	臍帯を牽引しないよう、児顔面を母体陰部と反対の方向へ向けた側臥位で安全に寝かせることができた			
28	児の出生時間を確認できた			
29	児の娩出後すぐに陰裂近くの臍帯をコッヘルで留めることができた			
30	出生直後のチェックポイント（啼泣、筋緊張、皮膚色）と外表奇形の有無の確認ができた			
31	児の保温（ガーゼで水分をおさえ拭きする）に努めることができた			
32	出生1分後にアプガールスコアの採点ができた			
33	臍輪部から2cmと3cmの所にコッヘルで印を付け、その上2cmにコッヘルを止め、2cmの印のところに臍帯クリップを装着できた			
34	ガーゼを用い臍帯剪刀の先端が児を傷つけないように左手掌で保護しつつ、コッヘルと臍帯クリップの間（臍輪部から3cmの所）をゆっくりと安全に切断した			
35	安全に児を抱き上げ、母親に祝福やねぎらいの言葉などをかけながら腹部のシーツを介して母親が抱けるように渡すことができた			
36	胎盤剥離徴候を2つ以上確認した後、右手の示指と中指で臍帯をとめたコッヘルを挟み、臍帯を軽く上下させ骨盤誘導線の方向へ牽引できた			
37	胎盤が1/2程度娩出したら、ガーゼで包み、一方向に回転させながら、重力を利用して娩出することができた			
38	卵膜が残りそうな時はコッヘルで把持し、破らないように娩出できた			
39	胎盤娩出後に、時間の確認、胎盤・卵膜の欠損の有無、臍帯血管の確認ができた			
40	右手の示指と中指にガーゼを巻き、会陰や膣壁の血液を除きながら、軟産道損傷の有無を確認できた			
*				

特記事項（自由記載）